



2020年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年8月7日

上場会社名 オーナンバ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5816 URL <http://www.onamba.co.jp/>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)遠藤 誠治
 問合せ先責任者 (役職名)専務取締役管理部長 (氏名)木嶋 忠敏 (TEL)06-6976-6101
 四半期報告書提出予定日 2020年8月18日 配当支払開始予定日 2020年9月7日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年12月期第2四半期の連結業績(2020年1月1日～2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第2四半期	15,295	△13.7	224	△23.8	302	47.2	61	33.7
2019年12月期第2四半期	17,726	0.1	294	18.8	205	△15.9	46	△39.7

(注) 包括利益 2020年12月期第2四半期 △354百万円 (- %) 2019年12月期第2四半期 △69百万円 (- %)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第2四半期	5.05	—
2019年12月期第2四半期	3.67	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年12月期第2四半期	27,137	15,364	54.5
2019年12月期	28,385	15,792	53.4

(参考) 自己資本 2020年12月期第2四半期 14,803百万円 2019年12月期 15,166百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期	—	5.00	—	6.00	11.00
2020年12月期	—	5.00	—	—	—
2020年12月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年12月期の連結業績予想(2020年1月1日～2020年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2020年12月期 2 Q	12,558,251株	2019年12月期	12,558,251株
② 期末自己株式数	2020年12月期 2 Q	371,376株	2019年12月期	371,311株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2020年12月期 2 Q	12,186,929株	2019年12月期 2 Q	12,537,027株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料の3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

1 当第2四半期における業績全般の動向

当第2四半期連結累計期間（2020年1月1日～2020年6月30日）における当社グループの経営環境は、米中貿易摩擦の長期化や新型コロナウイルス感染症の影響による経済の下振れなど、依然として先行き不透明で厳しい状況が続きました。

新型コロナウイルス感染症への対応については、当社グループは、国内及び海外（中国、アメリカなど7ヶ国13拠点）の各拠点において、従業員の感染リスクの低減と安全確保を図りながら、一方でお客様への供給責任を果たすべく事業活動を推進しております。

各国の外出規制や操業停止などの公的な事業活動の制限や、お客様訪問の自粛など事業活動への影響が出てきましたが、国内外ともに影響を最小限に抑えるように日々努めております。

当第2四半期連結累計期間では、新型コロナウイルス感染症の影響で国内及び海外の生産拠点で操業停止による稼働損失が発生し、販売と利益に大きな影響が残りました。

一方で、新エネルギー分野での新規システム開発、販売促進などの施策を進めましたが、売上高は前年を下回りました。

利益面では、販売減少による影響を、積極的な原価低減、販管費の削減などのコストダウンにより挽回に努めましたが、営業利益は前年を下回りました。日本、中国での助成金等の収入増加と、過年度関税等の営業外費用の減少により経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年を上回りました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は15,295百万円（前年同期比13.7%減）、営業利益は224百万円（同23.8%減）となり、経常利益は302百万円（同47.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は61百万円（同33.7%増）となりました。

2 セグメントの業績

期別 セグメント別	売上高			営業利益		
	前第2四半期 連結累計期間 (百万円)	当第2四半期 連結累計期間 (百万円)	増減率 (%)	前第2四半期 連結累計期間 (百万円)	当第2四半期 連結累計期間 (百万円)	増減率 (%)
日本	10,208	8,951	△12.3	180	24	△86.5
欧米	4,135	3,447	△16.6	△0	31	—
アジア (日本を除く)	3,382	2,896	△14.4	104	171	63.7
消去	—	—	—	10	△2	—
合計	17,726	15,295	△13.7	294	224	△23.8

(注) 増減率につきましては、表示単位未満を四捨五入しております。

①日本

当第2四半期連結累計期間は、新型コロナウイルス感染症の影響による自動車・産業機器用製品などの売上高の減少がありました。一方で、新エネルギー分野での新規システム開発、販売促進などの施策を進め、売上高は8,951百万円（前年同期比12.3%減）となりました。

売上高減少の影響を原価低減活動などで挽回に努めましたが、営業利益は24百万円（前年同期比86.5%減）となりました。

②欧米

当第2四半期連結累計期間は、新型コロナウイルス感染症の影響でメキシコ工場が操業停止となった影響で、売上高は3,447百万円（前年同期比16.6%減）となりました。従来からの原価低減活動に加え、操業停止に伴う異常な操業度の低下による固定費、並びに操業停止に関連して発生した費用を感染症関連損失（197百万円）として特別損失に計上した結果、営業利益は31百万円（前年同期は0百万円の営業損失）となりました。

③アジア（日本を除く）

当第2四半期連結累計期間は、新型コロナウイルス感染症の影響によりアジアの生産子会社の産業機器用製品などのワイヤーハーネス部門の売上高が減少となり、売上高は2,896百万円（前年同期比14.4%減）となりました。一

方で、事業構造改善効果の着実な刈り取りなどにより、営業利益は171百万円（前年同期比63.7%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

1. 資産、負債、純資産の状況

<資産>

資産合計は、27,137百万円（前期末比1,248百万円減）となりました。主に、現金及び預金802百万円が増加し、受取手形及び売掛金1,537百万円、商品及び製品130百万円及び固定資産188百万円が減少いたしました。

<負債>

負債合計は、11,772百万円（前期末比820百万円減）となりました。主に、短期借入金720百万円、長期借入金363百万円が増加し、支払手形及び買掛金1,781百万円が減少いたしました。

<純資産>

純資産合計は、15,364百万円（前期末比427百万円減）となりました。主に、その他有価証券評価差額金147百万円、為替換算調整勘定169百万円がそれぞれ減少いたしました。

2. キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は4,551百万円となり、前連結会計年度末に比べて802百万円の増加となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、416百万円の収入（前年同期は646百万円の収入）となりました。主に、税金等調整前四半期純利益103百万円、減価償却費396百万円、売上債権の減少1,468百万円、たな卸資産の減少92百万円及び仕入債務の減少1,732百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、509百万円の支出（前年同期は305百万円の支出）となりました。主に、有形固定資産の取得による支出375百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、953百万円の収入（前年同期は808百万円の支出）となりました。主に、短期借入金の調達（純額）720百万円、長期借入金の調達による収入600百万円及び長期借入金の返済による支出212百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、2020年7月31日に公表いたしました「特別損失の計上並びに業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」の通りであります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,749,148	4,551,621
受取手形及び売掛金	9,632,574	8,094,670
商品及び製品	2,299,456	2,168,753
仕掛品	895,127	806,511
原材料及び貯蔵品	3,282,866	3,298,864
その他	559,952	439,015
貸倒引当金	△4,460	△4,391
流動資産合計	20,414,666	19,355,044
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,318,954	1,346,230
機械装置及び運搬具（純額）	1,374,372	1,585,108
土地	1,891,906	1,888,138
建設仮勘定	421,780	123,717
その他（純額）	619,454	679,569
有形固定資産合計	5,626,468	5,622,763
無形固定資産		
投資その他の資産	423,563	457,531
投資その他の資産	1,989,092	1,772,577
貸倒引当金	△67,802	△70,301
投資その他の資産合計	1,921,289	1,702,275
固定資産合計	7,971,321	7,782,570
資産合計	28,385,987	27,137,615

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,456,525	4,675,489
短期借入金	1,925,388	2,646,147
未払法人税等	153,867	94,690
賞与引当金	204,095	217,073
製品改修引当金	11,461	11,461
その他	1,264,924	1,255,296
流動負債合計	10,016,262	8,900,158
固定負債		
長期借入金	1,299,631	1,662,938
繰延税金負債	309,106	245,276
退職給付に係る負債	543,782	549,749
その他	424,363	414,500
固定負債合計	2,576,883	2,872,464
負債合計	12,593,146	11,772,622
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,323,059	2,323,059
資本剰余金	2,011,437	2,011,437
利益剰余金	10,551,618	10,540,019
自己株式	△160,380	△160,402
株主資本合計	14,725,735	14,714,114
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	339,388	191,933
繰延ヘッジ損益	631	△21,055
為替換算調整勘定	143,177	△26,129
退職給付に係る調整累計額	△42,644	△55,586
その他の包括利益累計額合計	440,553	89,162
非支配株主持分	626,551	561,715
純資産合計	15,792,841	15,364,992
負債純資産合計	28,385,987	27,137,615

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年6月30日)
売上高	17,726,991	15,295,296
売上原価	14,766,557	12,708,153
売上総利益	2,960,434	2,587,143
販売費及び一般管理費	2,665,500	2,362,333
営業利益	294,934	224,810
営業外収益		
受取利息	13,020	11,636
受取配当金	12,225	11,088
貸倒引当金戻入額	3,394	-
持分法による投資利益	15,871	-
補助金収入	-	970
助成金収入	-	84,925
その他	34,155	45,941
営業外収益合計	78,667	154,561
営業外費用		
支払利息	32,627	26,309
持分法による投資損失	-	5,597
為替差損	58,110	27,740
過年度関税等	49,508	-
その他	27,592	16,858
営業外費用合計	167,838	76,505
経常利益	205,763	302,866
特別利益		
固定資産売却益	789	776
特別利益合計	789	776
特別損失		
固定資産処分損	593	2,710
感染症関連損失	-	197,467
特別損失合計	593	200,177
税金等調整前四半期純利益	205,959	103,465
法人税、住民税及び事業税	174,456	74,947
法人税等調整額	△64,457	9,118
法人税等合計	109,999	84,065
四半期純利益	95,960	19,399
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	49,934	△42,123
親会社株主に帰属する四半期純利益	46,026	61,522

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	95,960	19,399
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,371	△147,455
繰延ヘッジ損益	△1,474	△30,980
為替換算調整勘定	△176,503	△182,726
退職給付に係る調整額	14,580	△12,942
その他の包括利益合計	△165,769	△374,104
四半期包括利益	△69,808	△354,704
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△100,441	△289,868
非支配株主に係る四半期包括利益	30,632	△64,836

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	205,959	103,465
減価償却費	347,096	396,661
持分法による投資損益(△は益)	△15,871	5,597
固定資産売却損益(△は益)	△789	△776
固定資産処分損益(△は益)	593	2,710
補助金収入	-	△970
助成金収入	-	△84,925
過年度関税等	49,508	-
感染症関連損失	-	197,467
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△3,863	2,490
賞与引当金の増減額(△は減少)	△182	15,394
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	3,326	7,239
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△12,000	-
受取利息及び受取配当金	△25,245	△22,724
支払利息	32,627	26,309
売上債権の増減額(△は増加)	206,568	1,468,928
たな卸資産の増減額(△は増加)	△273,814	92,618
仕入債務の増減額(△は減少)	△4,738	△1,732,311
その他	157,294	231,340
小計	666,467	708,514
利息及び配当金の受取額	25,254	22,724
利息の支払額	△31,820	△25,543
補助金の受取額	-	970
助成金の受取額	-	8,376
感染症関連損失の支払額	-	△194,167
法人税等の支払額	△13,094	△104,550
営業活動によるキャッシュ・フロー	646,807	416,323
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△250,911	△375,174
有形固定資産の売却による収入	1,338	1,839
投資有価証券の取得による支出	△158	△95,005
その他	△55,478	△40,890
投資活動によるキャッシュ・フロー	△305,210	△509,230
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△476,471	720,815
長期借入れによる収入	2,411	600,000
長期借入金の返済による支出	△188,414	△212,903
配当金の支払額	△75,222	△73,121
その他	△71,060	△80,969
財務活動によるキャッシュ・フロー	△808,757	953,820
現金及び現金同等物に係る換算差額	△49,084	△58,439
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△516,244	802,473
現金及び現金同等物の期首残高	4,164,615	3,749,148
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,648,370	4,551,621

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(会計上の見積り)

新型コロナウイルス感染症の拡大は、経済や企業活動に影響を与えており、当社グループの事業活動にも影響を及ぼしております。

ただ、このような状況は、2020年末に向けて徐々に正常化し、2021年より新型コロナウイルス感染症の感染拡大前の状況に概ね戻ると仮定し、固定資産の減損等の会計上の見積りを行っております。

なお、この仮定は不確実性が認められるため、収束遅延により影響が長期化した場合には将来において損失が発生する可能性があります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	日本	欧米	アジア (日本を除く)	
売上高				
外部顧客への売上高	10,208,400	4,135,734	3,382,857	17,726,991
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,125,469	80,985	3,117,745	5,324,200
合計	12,333,869	4,216,720	6,500,602	23,051,192
セグメント利益又は 損失(△)	180,294	△ 975	104,714	284,033

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	284,033
セグメント間取引消去	10,900
四半期連結損益計算書の営業利益	294,934

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	日本	欧米	アジア (日本を除く)	
売上高				
外部顧客への売上高	8,951,009	3,447,361	2,896,925	15,295,296
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,782,601	48,914	2,593,126	4,424,642
合計	10,733,611	3,496,275	5,490,052	19,719,938
セグメント利益	24,386	31,639	171,421	227,447

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	227,447
セグメント間取引消去	△ 2,637
四半期連結損益計算書の営業利益	224,810